

C サポ通信 創刊号

2020年8月

No. 1

一般社団法人消費生活総合サポートセンター(C サポ) 会長 小野由美子

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪 2-34-20-207 Tel&Fax 03-6319-0840 <https://www.c-support.or.jp/>



こんにちは！C サポです！

ご挨拶

会長 小野 由美子



3月6日に開催した全国消費者教育ネットワーク会議「新たなつながりから見える消費者教育の展望」から、早5か月が経とうとしています。その後も新型コロナウイルス感染拡大の影響は続き、6月の総会はオンラインによる開催という形を取りました。私たちはスタート時から「新しい生活様式」を意識した活動を模索しているとも言えますが、消費者が直面する社会的課題の解決に向けて、資格や領域を横断する形で3つの柱、すなわち情報の収集の発信、リーダーとなる人材の育成、そして行政・企業・団体との協働を軸に活動を進めることに変わりはありません。

各委員会での活動が本格的に始まり、本年度は対外的な活動の広がりがさらに増していきます。定例会における各委員会からの発議に基づく検討も回を重ねるごとに、より具体的な内容となってきています。関心のある活動を軸にしながらも、それぞれの会員が自分自身の「思い」を織り交ぜられるような活動の場が提供できれば嬉しいです。引き続きのご協力をよろしくお願いします。

2020年度以降の第4期消費者基本計画では「誰一人取り残さない社会的包摂の実現」に向けて、加齢により判断力が低下した高齢者、民法上の成年年齢が引き下げられる若年者、そして障害者など、全ての消費者が地域社会から孤立することのない消費社会の整備が目指されています。私たちの活動は、今まさに役立つ機会にあふれています。

設立の趣意

私は、10年以上にわたり消費生活に関する支援を必要とする知的障害のある方や家族、支援者を対象にした金銭管理教育講座などを、「多重債務者問題からみた社会福祉のあり方研究会」（通称おたふくけん）で、メンバーと協力しながら実施してきました。これについて一定の成果を上げていく中で、障害者の方、高齢者やその家族など、いわゆる「脆弱な消費者」が自立して消費生活を送れるための、幅広い支援活動の必要性を感じるようになりました。そこで「おたふくけん」の活動の幅を広げ、組織的な活動を図るため、これを発展させ「一般社団法人消費生活総合サポートセンター」（通称Cサポ）を2019年12月に設立しました。

私たちCサポは、消費者が直面する社会的課題の解決を図り、より良い暮らしを実現するため、資格や領域を横断しながら、3つの柱、1.情報の収集の発信、2.リーダーとなる人材の育成、3.行政・企業・団体との協働に基づいて活動していきます。

そして「消費生活や学校教育のスペシャリスト」だけにとどまらず、他の様々な団体とのネットワークを作り、多様な主体が生活者視点で連携、協働して、この活動へ容易に参加できる仕組み作りや、支援の担い手となる人材の育成を幅広く行っていきます。

この設立の趣意に一人でも多くの方がご賛同いただき、一緒に楽しく無理なく活動していければ、これほど素晴らしいことはないと思います。

2020年6月24日、Cサポの第1回総会が開催されました。提議された2つの議案はいずれも可決承認されました。

第1号議案 2019年度事業報告の件

多様な主体のネットワークの拠点となることを目指して、本年度の事業・活動として、2020年3月6日(金)に令和元年度 全国消費者教育ネットワーク会議を実施しました。

シンポジウムでは、新たなつながりからみえる消費者教育の展望をテーマに「脆弱な消費者」「消費者教育」「エシカル消費」のスペシャリストが議論しました。参加者は新型コロナウイルス禍の影響はありましたが、25名にのぼり活発な意見がかわされました。



○開会挨拶：専務理事 新井 秀雄

○基調講演：東京家政学院大学現代生活学部 准教授 小野 由美子

○シンポジウム「新たなつながりからみえる消費者教育の展望」/パネルディスカッション

コーディネーター： 東京家政学院大学現代生活学部 准教授 小野 由美子

パネリスト： 消費者庁消費者教育推進課 企画官 米山 眞梨子

(一社)日本エシカル推進協議会 理事 薄羽 美江

○今後の活動について：理事/消費者教育委員長 中上 直子

第2号議案 2019年度決算報告及び監査報告の件

2019年度の決算は、資産合計319,634円、負債合計649,357円、正味財産合計△329,723円となりました。

また、初年度ということもあり、経常収益0円、経常費用312,223円、税引前当期一般正味財産増減額△312,223円、一般正味財産期末残高は329,723円となりました。

2020年度は、幅広い会員の獲得、事業の確立を図り、黒字転換を目指します。

役員のご挨拶

専務理事 新井 秀雄

消費生活総合サポートセンター(Cサポ)季刊誌の創刊にあたり、ご挨拶をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策により新しい生活様式が徐々に浸透してきています。これに伴い、(Cサポ)では新しい生活様式に合った教材の開発など、進むべき方向性を試行錯誤しながら模索しているところです。

新しい生活様式の浸透によりリモート会議といったツールも普及し、いままで以上に効率的な意思疎通も可能になってきたと思います。今こそ全国の多様な主体とのネットワークの輪を広げることで、活動がより有意義になるものと信じており、この季刊誌がそのための一助になることを期待しています。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

理事 中上 直子

コロナ禍は、これまでの私たちの常識や概念を覆すほどの脅威と、生活様式の変化をもたらしています。一方、この状況を前向きに捉えるならば、一人ひとりが今できることを考え、実行していくチャンスなのかもしれません。

一人では難しいことでも、協力・連携をしていくことで、その可能性は大きく広がると考えます。ネットワークの拠点を目指して一歩を踏み出したCサポを、どうぞよろしくお願いいたします。



各委員会の紹介

消費者教育委員会

当委員会は、Cサポの掲げる3つの柱「情報の収集・発信」「リーダーとなる人材の育成」「行政・企業・団体との協働」のうち、主に「情報の収集・発信」を担います。活動内容は、①教材の作成・配布・PR、②消費者出前講座の実施（講師派遣）、③教材作成及び講座の情報収集・研究です。

オリジナル教材の作成とともに、消費生活関連団体や自治体発行の教材等を収集・研究し、学校の授業や市民講座に活かす提案をしていくことを目標に、活動してまいります。

コロナ禍で出前講座は難しい状況にあります。Web教材の作成に注力し、第40回日本消費者教育学会実践交流会にて発表の機会をいただくことになりました。この場をお借りしまして、学会関係者の皆様、教材作成にご助言をいただきます先生方に、深く感謝申し上げます。

委員長 中上直子：na-nakajo@c-support.or.jp

事業委員会

当委員会では、3つの柱のうち、「2. リーダーとなる人材の育成」を中心に活動しています。

消費者教育のエキスパート育成を目的とした講師養成講座やスキルアップ研修などの事業を受託し、要望のある行政や企業への講師派遣に対応しています。

そして、年に1回、Cサポ主催でリーダーとなる人材の育成に携わる皆様方と「全国ネットワーク会議」を開催します。新型コロナの感染拡大防止を考慮し、本年度はWeb会議（Zoom）で配信を予定しております。Web会議ですので、遠方の方もお気軽にご参加いただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

事業委員会では、一緒に活動する仲間を募集しています。今回のような全国ネットワーク会議や消費者教育の講師養成講座等の企画・運営に興味のある方は、ぜひ一緒に活動しませんか。ご興味のある方は、ぜひCサポまでご連絡をお願いします!!

委員長 内藤恵美子：jigyou@c-support.or.jp

福祉サービス第三者評価委員会

当委員会は、主に東京都内の福祉サービス第三者評価事業を行います。東京都の福祉サービス第三者評価制度は全国に先駆けて2003年施行され、第三者評価情報は都のHP上で公開されています。消費者の福祉サービス選択のための情報提供と、福祉サービス事業の質向上に向けた自主的取組みの促進が目的で、成果を上げております。

評価者は、東京都福祉サービス第三者評価者としての認定を受けた者で、Cサポには10数名の資格者がおります。評価の対象となる福祉事業所については、高齢者・障害者・保育など幅広く行っていきたいと考えて、新規資格取得者の募集にも取り組んでおります。

評価者資格をお持ちの方、及び評価者資格取得等に興味のある会員・関係者の方々のお問い合わせ、或いは第三者評価受審希望事業所のご紹介をお持ちしております。なお、詳細は当法人ホームページをご覧ください。

委員長 狩野拓夫：tku-kanou@c-support.or.jp

消費者志向経営委員会

当委員会では、3つの柱のうち、「2. リーダーとなる人材の育成、3. 行政・企業・団体との協働」を目的に、「エコプロ展」と「消費生活アドバイザー試験対策出前講座」に取り組んでいます。

「企業と連携して環境授業」では、エコプロ見学を実施する小学校に事前授業を行い、我々が行う環境学習と、エコプロ出展の企業・団体の取組みを紹介します。エコプロ当日は事前授業を受けた企業・団体のブースへの引率を行い、SDGsへの知識と関心を深めてもらいます。我々の展示会場にも案内し、事前授業の様子を紹介して、新たに出前授業を希望する参加校を増やすことに努めます。コロナ禍の影響で、今後はオンライン講座も実施すべく検討中です。

また、消費者志向経営人材育成の一環として、企業向けの消費生活アドバイザー試験対策出前講座（一次試験/二次試験）に取り組んでいます。

委員長 高嶋威男：

shouhisha-shikou@c-support.or.jp

お知らせ

「消費者白書勉強会」(リモート会議による会議)

日時：2020年8月20日(木) 18時30分～20時

場所：霞会館(港区西麻布3-2-32)

講師：消費者庁 参事官(調査・物価等担当) 吉田 充志氏

内容：令和2年度版消費者白書の概要・特集について、解説していただきます。

リモート会議による参加者募集！ぜひご予約おきください。

「全国ネットワーク会議」(リモート会議による全国会議)

日時：2020年11月15日(日) 13時30分～17時

場所：霞会館(港区西麻布3-2-32)

内容：

テーマ「消費生活に関する様々な社会的課題の解決に向けて、他の主要な団体とのネットワークを作り、多様な主体が消費者視点で連携、共同できる交流の場を！！」

第一部 基調講演「消費生活サポートの立場から考える知的障害の方等への「合理的な配慮」

講師：社会福祉士 当センター顧問 江國泰介

パネルディスカッション：コーディネーター 当センター会長 小野 由美子

パネリスト：消費生活相談員、特別支援学校教諭、東京都福祉サービス評価委員

第二部 Cサポが作成した教材の紹介

福祉関連で日頃みなさまが感じている消費者トラブル問題を共有し解決に向けて意見交換をします。

リモート会議による参加者募集！ぜひご予約おきください。

「Web 配信 消費者教育学会 全国大会(1日目)」に出場します！

日時：2020年10月3日(土) 13時～16時20分

場所：リモート会議

内容：

テーマ：「消費者教育の新たなステージに向けて—実践が切り開く未来—」

第一部 基調講演「消費者教育学会40年の歩みと展望 —実践が切り開く未来—」

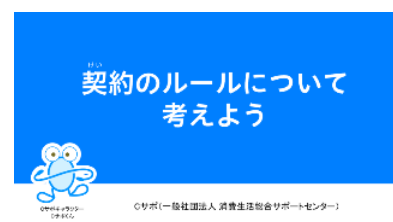
講師：日本消費者教育学会会長 東 珠実 氏

第二部 実践交流会(ラウンドテーブル/分科会方式 5テーマ)

ゲストスピーカー(1テーマにつき3団体)が話題を提供します。

- ① SDGs 1 (エシカル消費)、② SDGs 2 (消費者志向経営)、③ 契約1 (成年年齢引下げ)、
- ④ 契約2 (悪質商法、キャッシュレス)、⑤ 安全・情報

Cサポは、契約1(成年年齢引き下げ)部門で、現在作成に取り組んでいるWeb教材、ワークシート等の発表を予定しています！



発行日 2020年8月

一般社団法人消費生活総合サポートセンター(Cサポ) 広報委員会